

ハナズキ

葉月号
No. 45

発行日
平成28年8月1日



一泊旅行	P 1. 2
盆踊り	P 3
オムニバス・アート展	P 4

ご当地グルメバイキング	P 4
施設長記事	P 5
コラム 編集後記	P 6



一泊旅行

社会福祉法人武蔵野会 世田谷区立九品仏生活実習所・中町分場
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7丁目39番13号
電話 03(3703)1519 FAX 03(3703)1493
〒158-0091 東京都世田谷区中町2丁目25番17号 (中町分場)
電話 03(5706)7301 FAX 03(5706)7330
Email m.kuhonjitu@tuba.ocn.ne.jp URL <http://m-kuhonjitu.sakura.ne.jp/blog/>



世田谷区立
九品仏生活実習所
・中町分場

一泊旅行

6月の1週目から、3回の日程に分けて一泊旅行に行ってきました。一泊旅行は利用者さんにとって年に一度の一大イベントです。今年はテーマパークのような楽しみも、温泉の癒しもどちらも味わいたい！と考え、日光江戸村と鬼怒川温泉に行ってきました。行くのが初めてだという人も多く、わくわく、ドキドキした気持ちで旅行の日を迎えました。

旅行当日は大きな観光バスが実習所に入ってくると歓声があがっていました。お昼ごはんは日光までの道中にあるサービスエリアで食べました。

日光江戸村に到着しゲートを通るとそこには江戸時代の世界が広がっており、お侍さんや着物姿の人々が出迎えてくれました。少し進むと小屋の中に馬がいて、えさをあげた利用者さんもいました。手裏剣体験のお店や、茶屋、劇場など、まるでタイムスリップしたかのような空間でした。忍者と剣で対決をしたり、花魁道中を見たり、普段味わえない雰囲気堪能してきました。忍者やきれいな着物姿の人達と写真を撮るときは珍しい姿の人達と並んで、利用者さんも思わず笑顔になっていました。

ホテルでは江戸村でたくさん遊んできた分、温

医務便り

8月に入り、まだまだ暑さが続きます。暑が続くと心配なのが熱中症です。

しかし、熱中症は予防ができます。楽しく充実した夏にするためにも、生活習慣を見直し、日頃から体調管理をしっかりとしましょう。

もし、体調がすぐれないと感じる時には、無理をせずにしっかりと休養をとりましょう。

熱中症の予防には、水分補給が大切です。みなさんは水分補給の時に何を飲んでますか。

実は、スポーツドリンクやジュースなどの清涼飲料水にはたくさんの糖分が含まれています。そのため、水分補給としてこれらを飲み続けると、水分をとっているのに喉が渇いたり、体が怠く、意識が朦朧したり、倒れることもある「ペットボトル症候群」にかかる可能性があります。以下のような悪循環が起こってしまいます。

★スポーツドリンクは激しい運動の後に飲むようにし、普段の水分補給は水かお茶にしましょう。

そして塩飴や塩昆布などで塩分補給も忘れずにしましょう。

泉で疲れを癒し、夕食のときは宴会場でカラオケ大会になり、大盛り上がりでした。2日目はおかき工房に行きました。いろいろな味のおせんべいを試食したり、醤油味のおせんべいを焼く体験をしました。利用者さんは初めての方が多く、「おいしそう」「お土産にするー」と声がきこえてきました。

1日目は江戸の世界、2日目は森林に囲まれたおかき工房、と日常から離れて過ごした二日間でした。都会では見られない山々や、江戸の風景に囲まれ、素敵な思い出の1ページになったのではないかと思います。(杉浦)



『ペットボトル症候群』

ジュースなどを飲む

血糖値が上昇し
また喉が渇く

またジュース
などを飲む

さらに血糖値が
上昇し喉が渇く

盆踊り会



7月15日に盆踊り会を行いました。盆踊りをさらに盛り上げる為、ホールの天井に提灯、壁には横断幕を付けました。

利用者も盆踊りをとても楽しみにしており、盆踊りを家で練習してくる方・午前中から半被を来て準備している方もいました。

14時から盆踊り会が始まりました。音楽が流れ出すと、和太鼓の周りを、利用者・職員・地域の方が輪になり、踊りました。地域の方の本格的な踊りを真似して、手を動かし足踏みをしました。「上手だね！」と声をかけられると、にっこり笑っていました。また、バチを握り、「ドンドン」と和太鼓を思い思いに叩きまし

た。何度も何度もアンコールをして、たくさん踊りました。

食堂では、かき氷・ラムネを食べました。夏の雰囲気を出す為、窓にすだれを飾り、職員はアロハシャツを着て盛り上げました。「何味にしますか？」と職員が聞くと、食べたい味のシロップの瓶を指さし、みなさん召し上がりました。水に浸かっているラムネを1本取り、職員と一緒に蓋をあけました。プシューと音がして、中身があふれてくると、「わ！」と驚く場面もありました。

奥沢福祉園の方も遊びに来て、和太鼓を叩き、かき氷を食べ、喜んでいました。地域の方・ボランティアさんの協力もあり、夏を楽しみました。
(萩原)



社協の皆様へ感謝



今年もご協力いただいた”九品仏社協有志”の皆様です。

アート・オムニバス展

平成28年6月8日（水）～14日（火）に玉川高島屋ホワイトモールでアート・オムニバス展が開催



されました。今年は、中町分場の皆さんが制作した作品4点を出展しました。

ゆったりした
雰囲気のプロ
アーの中央付近
に皆さんの作品
が展示されまし
た。買い物途中
の方々も目を止
めて見てくれる
場所で、「楽し
い作品で心があ
たたまる」「元
気になりました
」「色がきれい
」などの感想
や「毎年楽し
みにしています
」

というコメントもいただきました。

感想やコメントでいただいた通り、展示されている所は、パッと明るくて優しい光が射したような空気に包まれていました。それは、きっと皆さんの作品から溢れ出ていて、一つ一つの生き生きとした作品が観る人の心に響いているのだなと実感する展示でした。

（古軸）

ご当地グルメバイキング

5月27日（金）本場の食堂で、『ご当地グルメバイキング～九州・沖縄～』を行いました。

今回は、熊本地震に対する一日も早い復興の願いも込めまして九州・沖縄地方の郷土料理を取り上げることとなりました。

主なメニューは、鶏飯（大分県）皿うどん（長崎県）、鳥焼（宮崎県）、だご汁（熊本県）、安納芋のパウンドケーキ（鹿児島県）九州野菜たっぷり海ブドウ入りサラダ（九州各地）、ラフテー（沖縄県）、シークワサーゼリー（沖縄県）などご当地の料理が勢ぞろいです。

いずれの料理もおいしくて、食べ応えがあり、利用者の方々や職員共々大満足のグルメバイキングでした。

メニューの中でも、特にラフテーが人気で補充が追い付かないほどでした。

（鈴木）



法人セミナーの報告

「すべての子どもの幸せの為に」というテーマで、平成28年6月25日の土曜日に、第8回武蔵野会セミナーが開催されました。今年度から、法人の創立月に合わせての開催となり、500名近い参加者で、昨年度と同じイイノホールにて12時に開演しました。

第1部は、日本福祉大学准教授の野尻紀恵先生に、「子育てのための切れ目のない支援を」とのタイトルで基調講演をお願いしました。まず、子育ての現状を解説され、子供の貧困、不登校・ひきこもり等地域の取り組みを学びました。「困った子」は「困っている子」として悩み苦しみを受け止め、また、不登校している子どもには理由があり学校に行かないことを選択した「不登校の権利」を尊重して見えてくもの等、子供の視線で、先生自らの実践を通じて、大人はどのように受け止めるかをわかりやすく話されました。

第2部は、子どもの虹情報研修センター研究部長の川松亮さん、NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長の松林知絵子さん、公益財団法人あすのば子どもの貧困対策センター事務局長の村尾政樹さん等3名のシンポジストが壇上に並び、野尻紀恵先生にコーディネーターをお願いして、シンポジウムが始まりました。川松さんからは、子どもが置かれている環境、児童行政の動き等の説明を頂き、地域の新たな「おせっかい」を作り出していく活動の紹介がありました。

栗林さんは、パワーあふれるWAKUWAKUネットワークの実践の紹介、「おばちゃんパワー」「おせっかい」が必要とされること、地域でやれることがいっぱいあるという話、村尾さんは、子どもの支援に、お兄ちゃん、お姉ちゃんたち世代である学生が取り組んでいる実践を紹介いただき、社会の理解とサポートが、

まだまだ足りないという熱いメッセージをいただきました。

武蔵野会は、人権を大きなテーマに毎年セミナーを開催してきましたが、今年度は、児童と社会に焦点を当てました。子どもが選びたい支援、成長に必要な道しるべや困った時の駆け込み先、「一人ではないですよ社会が応援している」という強いメッセージ等をシンポジストのお話から学びました。

これから、この国の力になる若者や子ども等が抱えている問題を、社会全体で、その解決に向けての取り組みがすでに始まっています。高齢・障害・児童の枠を超えた包括的なネットワーク作りがすすめられています。当実習所、及び、法人世田谷地区の4施設は、障害者のための施設ではありますが、地域の福祉資源でもありますので、地域の包括的ケアにも目を向け、できることを支援しようと、28年度の地区の計画に盛り込んでいます。当施設は、さまざまな形で、地域の大勢の人に支えていただいていますので、地域の社会資源としても活用して頂きたいし、協力していきます。

施設長 村山俊彦



ボランティアさんを募集しています！

10月22日(土)にぼんぼんぼん²祭りを行います。模擬店やゲームなどのお手伝いをしてくれる方を募集しています。

実習所のボランティア担当までご連絡ください。

日常の活動のボランティアも募集しています。

*電話 : 03-3703-1519

*E-mail : m.kuhonjitu@tuba.ocn.ne.jp

ボランティア担当

館花 正岡 中沢 高主

武蔵野会後援会からのお願い

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と5つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。

使用済み切手、ベルマーク、書き損じのハガキの収集、1口500円の後援会費の方法などがあります。法人経営基盤の確立を目指していますのでご協力をお願い申し上げます。

ご協力については下記までご連絡下さい。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX 042-626-9772

コラム

私が好きな場所「宮ヶ瀬」

宮ヶ瀬をご存知でしょうか？宮ヶ瀬は神奈川県北西部にある宮ヶ瀬ダムとその周辺の地域のことです。

車で厚木インターから1時間弱、小田急線本厚木駅からバスで行くこともできます。

私が宮ヶ瀬を好きな理由は、実家から車で30分程で行けて、自然豊かで元気をもらえる場所だからです。

宮ヶ瀬の見所は大きなダムと対岸にある広場です。ダムは高さが150mもあり、真下から見上げるととても迫力があります。

また、エレベーターでダムの頂上まで上がると、雄大な宮ヶ瀬湖を見ることができます。

ここには湖を一周する遊覧船があり、対岸の広場まで行くことができます。

この広場には、ロードトレインが走ってた

り、芝生の遊び場や大きな吊り橋があってとてもオススメです。クリスマスには大きなもみの木が装飾されます。

ここ以外にも周囲には服部牧場という観光牧場や、荻野パンの工場直売所があり1日遊べる観光地です。皆さんもぜひ一度訪れてみてください。

(堀江)



今後の予定

10月22日(土) ぽんぽんぽん²祭り

永年勤続表彰

6月15日(水)にパレスホテル立川で、社会福祉法人武蔵野会の平成28年度 永年勤続者表彰式が行われました。

九品仏生活実習所は、真野洋美看護師が勤続10年の表彰を受けました。

編集後記

『オーダー製本』と言うものがあるそうです。自分の生い立ちや、業績等を本に綴って表紙、字体、様式など自分好みに作ってくれるそうです。唯一の本が出来上がります。

本もデジタルが普及している現代ですが、わざわざ『本』として残す事に心意気を感じます。

ハナミズキも、『オーダー製本』の様に、利用者皆さんの様子を丁寧に書き記し、伝えていきたいと思っています。

(和久)

ホームページをリニューアルしました。随時、施設のイベント情報を載せていきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください。

URL:<http://m-kuhonjitu.sakura.ne.jp/blog/>